



元旦に精進を誓う 美郷町相撲連盟新年初稽古

1月1日、美郷中学校相撲道場で美郷町相撲連盟（伊藤福章会長）が主催する新年初稽古が行われ、会員や町内の小中高生など約30名が参加しました。最初に神事が行われ、相撲道の精進と安全を祈願。四股踏みやすり足などの基本稽古で体を温めた後は、本番さながらの取組を行いました。小中学生が先輩力士の胸を借りる場面もあり、力いっぱいぶつかり合う音が道場内に響き渡りました。

ご長寿おめでとうございます 高橋キヨノさんが満100歳に

1月2日、満100歳の誕生日を迎えた高橋キヨノさんのもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を手渡しました。贈呈式には親族や施設利用者の皆さんが出席し、満100歳を祝福しました。職員から手作りケーキが手渡されると、高橋さんは大変喜んでいました。食べ物の好き嫌いはなく何でも残さずに食べ、演芸訪問の踊りを見るのが楽しみの一つだそうです。高橋さん、これからもお体に気を付けて、ご長寿を重ねてください。



交通安全・防犯活動の決意新たに 交通指導隊・防犯指導隊初出式

1月7日、役場庁舎で交通指導隊（坂本専太郎隊長）と防犯指導隊（高橋一彦隊長）による初出式が行われ、両隊員あわせて約30名が出席しました。式では松田町長が「今年は合併10周年を迎える節目の年。町民の皆さんが安全・安心の町と実感できるようにこれからも活動してもらいたい」と訓辞を述べました。続いて、美郷交番の石川和彦所長が町内の交通事故や犯罪の発生状況を説明し、「事件・事故の抑止のための基本事項は、災害対策でも用いられる自助、共助、公助に相当する。美郷町の安全意識が高いという声が多く聞かれるよう皆さんの協力をお願いしたい」と呼び掛けました。

出席者は、交通安全や防犯活動への決意を新たに、今年の活動をスタートさせました。



上手に滑れるようになったよ 後三年スキー場で「スキー教室」

1月11日から13日にかけて、後三年スキー場で町主催のスキー教室が行われ、町内の小学校1年生から3年生の児童約70名が参加しました。子どもたちは、町スキー連盟の皆さんの指導のもと元気に斜面を滑り、スキーの腕前を上達させていました。

後三年スキー場は料金無料のスキー場です。どうぞお気軽にご利用ください。

【スキー場の利用について】
問●後三年スキー場 ☎0187(83)2707

スポーツの楽しさを学ぶ 秋田ノーザンハピネッツの選手が仙南小学校訪問

1月21日、プロバスケットボールチームの秋田ノーザンハピネッツの選手が仙南小学校を訪問し、6年生37名にスポーツの楽しさやプロとしての考え方などについて講演しました。同チームと秋田県が行っているこの学校訪問は、県内の小学校の児童とのふれあいを通じてスポーツへの興味、意欲を引き出すことを目的として行っています。

今回訪問したのは菅澤紀行選手。菅澤選手は子どものころに打ち込んだバスケットボールが仕事になっていることを挙げ、「遊びでも勉強でも、自分の好きなことに打ち込むことは大事。素直な気持ちを持って、何にでも挑戦してほしい」と呼び掛けました。講演後には、子どもたちからの質問一つひとつ丁寧に答えたり、記念撮影を行うなど、プロスポーツ選手とのふれあいに子どもたちは満面の笑みを見せていました。





水道料金の統一に向けて 簡易水道料金検討委員会から町へ答申

現在的美郷町簡易水道料金は、町村合併前に設定された3種類の料金体系となっています。これを統一するため、平成25年3月に地域有識者代表ら9名からなる「簡易水道料金検討委員会」を設置。計6回の審議を行い、平成25年12月には佐藤健良会長と中野龍太郎副会長が役場庁舎を訪れ、松田町長に答申書が手渡されました。

町では、答申に沿った内容で一定年数をかけて段階的に料金統一することとし、料金統一化日程と併せて施設更新計画を作成中です。

松田町長に答申書を手渡す佐藤健良会長▶
(写真中央)と中野龍太郎副会長(写真右)



文化と心と未来と

美郷町長 松田知己

風

美郷町消防出初式で
あいさつを述べる松田町長

世の中には宝くじのように当たって欲しいことと、そうでないことがあります。今冬は代表的な後者の例となってしまうました。長期予報は出ていますが、まさか現実になるとは…。町では除排雪でがんばっておりますが、皆さんにも地域のためにできるご協力を心からお願いいたします。

さて、こうした雪への対応は雪国の文化であると私は思っておりますが、先般、別の事柄で「これも文化だ」と改めて思う場面に立ち会いました。皆さんご存知の菖蒲太鼓保存会。毎年新春に「初響会」が開催されますが、特に今年の初響会では力強い演奏の中に、私は強く「心」を感じました。

一方、芸術文化という言葉で括られることの多い「芸術」についてはどうかを考えると、やはり文化同様、蓄積の過程の中で磨かれた技術と表現スタイル、そして表現者の心が必ずそこに内在しています。その証左に、例えば絵画展に行き感動を覚えるのは、絵の表現方法とともに絵に込めた画家の心ですし、演劇においても感動するのは言葉や所作、そして俳優の心です。

こうした芸術文化、今年は祭典が開催されます。国民文化祭です。そして奇しくも今年には美郷町合併10周年。「節目」というものに未来への意欲確認の意義を求めるとするならば、数多くの芸術文化に内在する心の確認は、必ずや町づくりの未来に向けた心の確認に繋がると私は確信しております。

その手始めが今月です。伝統文化である六郷のカマクラ行事が開催されます。みなさんごぞって参加し、その真髄に凜として存在する心に触れてみましょう。そこには、必ずや美郷の未来に繋がる心があるはずですよ。